

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遠山の霜月祭・次世代へ継承する「音」の保存事業
事業主体 (連絡先)	遠山郷観光協会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,445,128 円

事業内容

遠山の霜月祭では、各神社独特の笛・太鼓で祭りを行っているが、担い手の高齢化・減少によって、地区の神社へ応援に行きながら祭りを続けていくケースが増えてきた。これにより、祭りが従来その地区に伝えられた節・拍子とは微妙に異なった形で行われることが生じてきた。正式な笛太鼓を可能な限り音と映像に収め、伝承に役立てる。更に、看板・のぼり旗を作成し見学者の利便性向上を狙った。



【完成した伝承用DVD】

【目標・ねらい】

- ①祭の継承に役立つよう、正式な笛太鼓を記録 (DVD) する。
- ②地元中学生や各保存会等での祭り練習で映像を活かし各地区特有の笛太鼓をしっかりと伝承していく。
- ③統一した看板等表示によって見学者に対して利便性を向上させる。

事業効果

- ① 録音の必要性、曲目等を吟味する中で、霜月祭伝承の重要性、各地区毎の特色を再確認できた。各地区の保存会のみならず地元中学生からの協力を得られ、地域を挙げて伝承に取り組む機運の向上に貢献した。
- ② 録音方法等じっくり吟味することができたので、伝承に役立つ質の高い教材ができた。
- ③ 霜月祭実施神社10社で、今回初めて統一したデザインによる看板・のぼり旗を作成し、見学者に分かりやすい掲示物ができた。
次年度以降、遠山の霜月祭の準備・本祭りに役立てていく。

※自己評価【B】

【理由】 祭の継承に役立つ正式な笛太鼓を記録したDVDができた。音のみの録音を予定していたが手元の映像も取り入れ、より分かり易い教材になった。今回初めて全社共通の看板・のぼり旗を作ることができた。

今後の取り組み

作成したDVDは、次年度以降の霜月祭シーズンへ向けて、地元中学生や祭り伝承のための若者グループ、各保存会での舞いの練習に役立ててもらおう。

遠山の霜月祭への関心は高く、近年では外国人旅行者の姿も散見されるようになった。今後、増加が見込まれる外国人旅行者の受け入れ体制も含め、祭りの見学の在り方、マナー、担い手との関わり等共に検討していく。

地域を挙げて伝承に努めている霜月祭が、今後も面々と受け継がれていかれるよう、引き続き各地区の伝承の下支えをしていく。